
平成25年度

事業報告書



社会福祉法人草津市社会福祉協議会



目次

総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

【事業報告】

(1) 地域福祉活動の周知・啓発・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～ 6

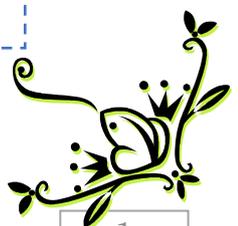
(2) 地域福祉力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7～12

(3) ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり・ 13～18

(4) 地域生活を支える事業の推進・・・・・・・・・・・・ 19～24

(5) 市社協の基盤づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25～33

この事業報告書は、第2次地域福祉活動計画（H24～H28）の進捗・評価の観点から、活動計画の推進項目と整合性を持たせた構成としました。



1. 総 括

全国的に、少子・高齢化の進行、人口減少や働き方など生活様式の変化に伴って、地域社会や家庭の様相は大きく変容し、経済情勢や雇用環境は快復傾向にはあるものの、まだまだ厳しい状況にあり、孤独死や自殺、ひきこもりなど社会的孤立問題、経済的困窮や低所得の問題、高齢者・障害者などへの虐待、悪徳商法など、地域社会における生活問題は深刻化、複雑化しています。

草津市においては、住みよさランキング2013の近畿圏1位の都市として、30代から40代の子育て世代を中心に人口の増加が続いていますが、高齢者も増加傾向にあり、子育てから高齢者までの幅広い課題と全国的な生活問題を抱えていると言えます。

平成25年度は、重点事業として、小地域福祉活動の推進を掲げ、職員が地域コーディネーターとして地域に出向き学区社協と地域の福祉力を高める取り組みを進めました。

また、地域サロン活動の拡大のため、立ち上げ支援を行うとともに、ボランティアや市民活動の振興を図るため、講座や社協サロンを開催しました。

相談事業につきましては、生活困窮者への生活福祉資金の貸付や、地域福祉権利擁護事業、ボランティア相談、心配ごと相談など多様な相談に、相談者の心に寄り添い相談対応を進めてきました。

このような事業展開を通じ、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりの推進を使命とする社会福祉協議会は、「こころ温かく支えあい、住みつづけたい、福祉のまち・くさつ」の実現に向けて、より一層の取り組みを進めてまいります。



2. 事業報告

(1) 地域福祉活動の周知・啓発

子どもから高齢者まで一人ひとりが尊重され、くらしの課題を他人ごととしない福祉の風土づくりに取り組みました。

①広報紙「社協くさつ」発行事業

市社協広報紙「社協くさつ」を年4回発行し、住民の福祉活動に着目した広報・啓発に努めました。

○平成25年6月15日号 (No.137) …福祉活動推進員養成講座、市社協事業計画・予算、報告・決算、第2回ボランティアフェスティバル等

○平成25年9月15日号 (No.138) …社協サロン、赤い羽根共同募金特集、はーいボランティアセンターです、介護者リフレッシュ事業、職員募集等

○平成25年11月1日号 (No.139) …第2回ボランティアフェスティバル報告、地域サロン特集、はーいボランティアセンターです、市民ふれあい秋まつり、歳末たすけあい募金配分等、

○平成26年3月15日号 (No.140) …収集ボランティア、地域福祉権利擁護事業特集、はーいボランティアセンターです、賛助会員紹介等



②「広報くさつ」点字版作成・配布事業

1級から4級の視覚障害があり、広報「くさつ」の配付を希望される方に、毎月1日号を基本的に点訳し、郵送しました。

配付対象	配付先人数等	配付数
視覚障害者	4～5人	49部
障害者福祉センター		12部

③ホームページ作成事業

ホームページにタイムリーな情報を掲載し、地域福祉活動への関心を高めるため、今年度からは市民の方との新たな情報ツールとしてフェイスブックとツイッターを開設しました。

また、コミュニティ事業団と協働して貸出物品の情報サイト「レンタルねつと☆くさつ」を立ち上げ、市民に貸出事業を活用しやすいようにしました。



④ふくちゃん啓発

ボランティアフェスティバルやパワフル交流市民の日、また幼稚園のクリスマス会や町内会のイベントに参加し啓発をおこないました。

【他団体への貸出状況】

	学区	開催日	内 容	依頼団体	イベント参加人数
1	草津	5月12日	民生委員児童委員の日	草津学区民生委員児童委員協議会	約100人
2	老上	6月29日	ボランティアまつり	老上学区ボランティア連絡協議会	約500人
3	老上	10月13日	湖州平40周年記念	湖州平自治会	約120人
4	志津	11月 3日	文化祭	青地第二町内会	約600人
5	玉川	11月 5日	萩まつり	玉川学区民生委員児童委員協議会	約1,000人
6	志津	12月11日	独居高齢者と志津幼稚園とのクリスマス会	志津地区社会福祉協議会	約170人
7	大路	平成26年 2月23日	ウインターフェスティバル	ファミリーハイツ草津町内会	約150人



⑤市社協のしおり作成

市社協の活動を知っていただくために2,000部作成し、賛助会員の募集や研修会等で配布しました。

⑥敬老会の支援

敬老月間に長寿を祝い、地域の支え合いや見守り活動につなげるための敬老会事業の実施を支援しました。

学区・地区	開催日	開催場所	対象者数	備考
南笠東学区	9月14日(土)	南笠東小学校体育館	828	
大路区	9月15日(日)	市立サンサンホール	1,166	
笠縫学区	9月16日(月)	笠縫小学校体育館	2,141	台風のため中止
矢倉学区	9月16日(月)	矢倉小学校体育館	1,444	
笠縫東学区	9月16日(月)	笠縫東小学校体育館	1,408	
老上学区	9月16日(月)	老上小学校体育館	2,149	
山田学区	9月16日(月)	市立武道館	1,616	
志津南地区	9月16日(月)	志津南市民センター	393	
玉川学区	9月22日(日)	玉川小学校体育館	1,232	
渋川学区	9月22日(日)	渋川小学校体育館	963	
常盤学区	9月29日(日)	常盤小学校体育館	941	
志津地区	9月中	各町内会	1,578	
草津学区	9月中	各町内会	1,737	

⑦草津宿場まつりへの参画

草津市社会福祉協議会の事業啓発を目的に啓発ブースで出展しました。子ども向けクイズラリーにも参加しPRに努めました。

開催日：平成25年4月28日（日）

場 所：天井川会場

内 容：「ふくちゃん」グッズの販売、
たこせん販売、ガチャガチャ
共同募金、市社協キャラクター
啓発



⑧福祉を考える市民のつどい

市民ふれあい秋まつりと合同開催しました。一般市民に対し福祉活動やボランティア活動を体験してもらい、福祉活動について考えてもらうきっかけの場としました。

また、市社協の事業についても啓発を行いました。

開催日：平成25年11月16日（土）

場 所：草津市役所1階

内 容：ボランティア体験、民生委員児童委員活動紹介、
市社協事業紹介、地域サロン事業紹介・ガチャガチャ
共同募金、市社協キャラクター啓発



⑨社会を明るくする運動

法務省の主唱により、すべての国民が犯罪防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築く目的で実施しました。

○第63回“社会を明るくする運動”草津市実施委員会の開催

開催日：平成25年6月17日（月）

場 所：社会福祉協議会 小会議室

○街頭啓発

開催日：平成25年7月1日（月）

場 所：JR草津駅、JR南草津駅

作文コンテスト

参加校＝高穂中学校16点・玉川中学校50点

入賞者＝玉川中学校から3名

○協力団体：草津市、草津保護区草津支部保護司会、草津市

青少年育成市民会議、草津市更生保護女性会、草津市BBS会、草津警察署生活安全課、草津市青少年補導委員会、草津市教育委員会、草津市学区社会福祉協議会会長会

約115名



⑩近所力アップ講座

地域に職員が出向き、より身近な福祉の専門職として、住民どうしのつながりや地域福祉活動の大切さを伝えました。

	学区	開催日	講座（研修）名	依頼団体	参加人数
			テーマ		
1	笠縫	6月29日	みんなでトーク 市社協事業について	笠縫学区社会福祉協議会	50人
2	草津	7月17日	みんなでトーク 高齢者が地域で元気に暮らし続けるために	草津団地 きらきらサロン	25人
3	老上	7月20日	みんなでトーク 高齢者が地域で元気に暮らしつづけるために	湖州平町内会	55人
4	笠縫	8月20日	みんなでトーク 地域福祉は近所の底力	南出老人クラブ	25人
5	草津	9月25日	みんなでトーク 市社協事業について	ユウ・アンド・アイ	10人
6	志津	12月1日	山寺町福祉講座 みんなが健康で楽しく暮らすために	山寺町内会	30人
7	南笠東	平成26年 2月4日	みんなでトーク 地域でだれもが安心してくらししていくために	南笠東シニアのつどい	20人
8	草津	2月8日	草津学区民児協研修会 市社協の事業について	草津学区民生委員児童委員協議会	25人
9	志津	2月22日	福祉交流会 あなたが選んだ福祉推進委員の関わりと今後について	志津地区社会福祉協議会	40人
10	笠縫	2月26日	福祉講座 福祉用具について	笠縫学区社会福祉協議会	20人



⑪社協サロン事業

市民が気軽に集まり交流する場の提供として、講師を招いて講座を開催しました。

○第1回「あなたが命の主人公」

人生最期の生き方を自分で決め、人生の設計図や老いについて語り、事前指示書「私の四つのお願い」を紹介しました。

開催日：平成25年11月10日（日）

講師：NPO法人ゆうらいふ理事長 山田登喜子さん

参加者：28人

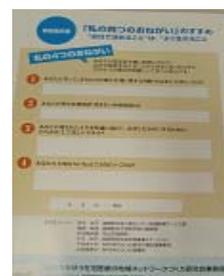
○第2回「脳が目覚める健康講座」

約5年間にわたって「脳健康講座」の実践を続けてきた講師が、多くの教室現場から学んだ「脳のゲーム」を交えて「元気が出る」お話しを行いました。

開催日：平成26年1月12日（日）

講師：くもん学習療法センターエリアマネージャー杉江哲さん

参加者：50人



(2) 地域福祉力の向上

くらしの課題を共有し、解決に向けて地域福祉力の向上と住民主体の地域福祉活動の発展をめざしました。

①地域サロン活動支援

地域サロン活動を通して、高齢者の見守り活動を推進し、身近な場所で支えあう関係づくりができるよう、サロン活動の拡充に努めました。

○平成25年度の地域サロン

地域サロン対象者：延59,485人

地域サロンボランティア数：延16,175人

町内会設置割合：59.2%

支援員訪問回数：年10回



○年間回数別地域サロン設置状況の推移

(単位：グループ)

	H25年度	H24年度	H23年度	H22年度	H21年度
年間20回以上	106	101	88	81	72
年間10回以上	20	17	20	20	13
計	126	118	108	101	85

○平成25年度学区別地域サロン設置状況詳細

学区	年間20回以上開催サロン数	開催回数(回)	対象参加者数(人)	年間10回以上開催サロン数	開催回数(回)	対象参加者数(人)
志津	6	222	2,811	2	23	220
志津南	3	93	1,627	0	0	0
草津	7	432	4,443	1	12	134
矢倉	9	377	5,958	1	9	276
大路	10	577	5,547	1	13	106
渋川	7	333	4,741	4	48	594
老上	6	326	4870	4	48	703
玉川	6	177	2,848	0	0	0
南笠東	2	70	1,898	0	0	0
山田	16	627	9,028	1	11	188
笠縫	12	421	5,431	2	30	366
笠縫東	10	223	2,928	0	0	0
常盤	12	392	4,480	4	46	288
計	106	4,270	56,610	20	240	2,875

○地域サロン立ち上げ講座

これから立ち上げようとする方や、現在活動しているけれど、もう一度話を聞いてみたい方、日ごろの思いや悩みを相談したい方を対象に開催しました。

開催日：平成25年11月29日（金）

内容：「地域サロンの取り組みと必要性」
 「わたしの実施しているサロンについて」
 地域サロンなんでも相談

参加者：33人



②地域サロン交流会

日頃の思い、悩みなどを話し合い他のサロンと横のつながりを持ち課題を共有することで、今後の活動に活かしていただくとともに、併せておもてなしの大切さ・つながることの大切さを学んでいただくことを目的に開催しました。

開催日：平成26年2月25日（火）

内容：日本南京玉すだれ協会 A 級指導者 八房香壽さんによる傘まわし、皿回し、八房流玉すだれ、交流会

コーディネーター：琵琶湖愛輪会 特別養護老人ホーム松の浦湯治の郷開設準備室
 施設長の扇田宗親さん

テーマ：「これからのサロンに求められるもの」
 「さあ！まじめなおしゃべり始めましょう」
 「自分の町内のちょっといい話」

参加者：78人



③地域サロン活動備品貸出

地域サロンの活動内容の充実や、地域サロンの啓発を目的としてサロン活動備品の貸出をしました。

地域サロン貸出備品	貸出数	利 用 団 体
カロム	3台	地域サロン、福祉団体、老人会、
輪投げ	11台	地域サロン、老人会、
回想かるた	12セット	地域サロン、福祉団体、老人会
唱歌カルタ	8セット	地域サロン、老人会
とと合わせ	9セット	地域サロン、老人会
十二支ビンゴ	5セット	地域サロン、町内会
フックボールボードセット	4セット	地域サロン、老人会
麻雀セット	35セット	地域サロン、学区社協、NPO法人
ビデオ・DVD	17本	地域サロン、老人会、民児協
ミュージックベル	8セット	地域サロン
トリコロキューブ	3セット	地域サロン
新・十扇	1セット	地域サロン
パスタマシーン	1セット	ボランティアグループ
歌集	30冊	地域サロン、ボランティアグループ
プロジェクター	9台	地域サロン、ボランティアグループ
音響一式	8セット	地域サロン、ボランティアグループ、福祉団体、町内会

④寝たきり・認知症予防助成

草津市老人クラブ連合会が実施する高齢者を対象とする健康増進事業に対して助成し、活動を支援しました。

⑤障害児者介護者リフレッシュ支援

肢体不自由児者父母の会が中心となり実施する、肢体不自由児者や知的障害児者家族の心身リフレッシュと介護者同士の交流・情報交換のための支援を行いました。

⑥知的障害者社会参加自立支援

草津市手をつなぐ育成会が中心となり実施する、共同作業所等で働く知的障害者の社会参加を促す交流や余暇活動を支援しました。

⑦視覚障害児者支援

草津点字グループあゆみ会に情報紙の点訳を依頼し、視覚障害者への情報提供を行いました。

⑧いきいきふれあい大運動会助成

草津市中心身障害児者連絡協議会が主催しているいきいきふれあい大運動会事業へ助成し、活動を支援しました。

⑨子ども福祉活動助成

草津市子ども会指導者連絡協議会が実施する福祉活動事業へ助成し、活動を支援しました。

⑩福祉機器リサイクル（貸出事業）

福祉用具（車椅子・補聴器）の貸出やリサイクル事業を実施しました。

○車椅子・補聴器

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
車椅子	19	7	9	21	8	14	20	9	11	7	7	12	144
補聴器	0	0	0	1	1	2	1	3	0	1	0	1	10

⑪福祉車両貸出

家庭の事情や経済・身体状況などにより病院などの送迎が必要な方に対して福祉車両を貸出すことで、安心・安定した生活が送れるようにボランティア登録していただいている送迎ボランティアに依頼し送迎を支援しました。

	平成25年度	平成24年度	平成23年度
送迎ボランティア数	8人	10人	11人
送迎依頼者数	19人	20人	22人
送迎対応件数	365回	376回	361回

⑫高齢者介護者リフレッシュ

介護者が日頃の介護からはなれて介護者同士で交流し、困りごとや悩み、介護の工夫を話し合い、気持ちの共有とつながりづくりをはかっていただきました。前年度、「交流の時間を多くもってほしい」との要望をうけ、今年度は参加者同士の交流する時間を多く持ち、参加者からは「リフレッシュできた」という声を多数聞くことができました。

開催日：平成25年11月26日（火）

場 所：ロイヤルオークホテル

内 容：交流会、食事会、ギターに合わせて歌唱

対 象：草津市内に住んでおられる寝たきりや認知症などの高齢者を現在在宅で介護されている方

参加者：27人



⑬社会福祉功労者等表彰式典

市民ふれあい秋まつりと合同開催し、長年活躍している地域福祉活動者やボランティアに対してその功績を称え表彰し、活動を応援しました。

また、社会福祉の向上のため寄附された個人や団体に感謝の意を表彰しました。

開催日：平成25年11月16日（土）

開催場所：草津市役所 2階特大会議室



	内 容	対象者数
表彰状	民生委員児童委員として9年以上地域福祉活動の推進に寄与された功績	45人
	社会福祉協議会、社会福祉施設および社会福祉関係団体等の役員として地域福祉活動の推進に寄与された功績	6人
	長年にわたり地域福祉活動の推進に尽力された方々	8人
	長年にわたり地域福祉活動の推進に尽力された団体	6団体
感謝状	社会福祉の向上のため寄附いただいた方々	5人
	社会福祉の向上のため寄附いただいた団体	24団体
	長年にわたり地域福祉活動に積極的に協力された功績	1人

⑭福祉活動推進員(市民コーディネーター)育成講座の開催

本講座修了者は、平成23年度からの3年間で合計99人になりました。

本講座は、地域福祉活動のリーダー格の養成・育成と活動者の拡大を目的として地域福祉に関する知識や情報を習得していただき地域福祉活動の理解を深め実践力を養うための学習の場として開催しました。また、養成講座での基本的な学習を踏まえ、地域で熱心に活動を進めている実践者の経験発表から学び、身近な地域で福祉活動に一步踏み出すための知識や技術を身につけていただくためのステップアップ講座を開催しました。

○第一講座

開催日：平成25年8月26日（月）

場 所：市社協2階大会議室

演 題：「現在社会の変化 ー大きく変わってきた“草津”を知るー」

講 師：びわこ学院大学教育福祉学部教授 平尾良治さん

参加者：68人



○第二講座

開催日：平成25年9月26日（木）

場 所：市社協2階大会議室

演 題：「今、なぜ地域福祉なのか

ーくさつ・まちの変化とわたしたちのくらしー」

講 師：びわこ学院大学教育福祉学部教授 平尾良治さん

参加者：52人



○第三講座

開催日：平成25年10月28日（月）

場 所：市社協2階大会議室

演 題：「地域福祉活動における行政と社会福祉協議会の役割 ―社会福祉・地域福祉は―」

講 師：びわこ学院大学教育福祉学部教授 平尾良治さん

参加者：54人

○第四講座

開催日：平成25年11月18日（月）

場 所：市社協2階大会議室

演 題：「学区社協の活動とくらしにかかわるいろんな「ひとやところ」との連携」

講 師：びわこ学院大学教育福祉学部教授 平尾良治さん

参加者：51人

○第五講座

開催日：平成25年12月16日（月）

場 所：市社協2階大会議室

演 題：「講座のまとめ 福祉活動推進員って ―地域福祉活動と住民主体―」

講 師：びわこ学院大学教育福祉学部教授 平尾良治さん

参加者：50人

【講座参加者数】

第一講座	第二講座	第三講座	第四講座	第五講座	参加者のべ人数	修了証交付人数
参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数		
68人	52人	54人	51人	50人	275人	42人

⑮第1回地域福祉活動ステップアップ講座

開催日：平成25年9月7日（土）

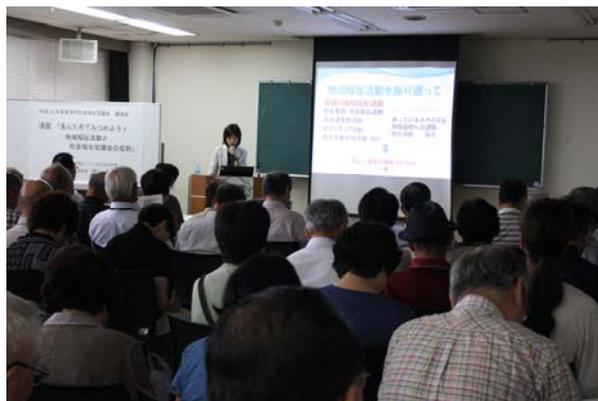
場 所：市社協2階大会議室

演 題：「あらためてみつめよう！地域福祉活動と社会福祉協議会の役割」

講 師：京都ノートルダム女子大学准教授 酒井久美子さん

対 象：市社協理事、監事、評議員、市議会議員、各学区・地区・区民児協会長、
平成23・24年度福祉活動推進員育成講座修了者、
平成25年度福祉活動推進員養成講座受講者、地域福祉権利擁護事業生活支援員等

参加者：157人



⑩第2回地域福祉活動ステップアップ講座

開催日：平成26年2月18日（火）

場 所：市社協2階大会議室

演 題：「生活のしづらさに私たち住民はどう向き合うのか」

講 師：大谷大学文学部社会学科教授 山下憲昭さん

報告者：草津市民児協会長、志津南地区社協会長、
山田学区社協会長、市社協事務局

対 象：各学区・地区・区社協会長、各学区・
地区・区民児協会長、平成23・24・
25年度福祉活動推進員育成講座修了者他

参加者：56人



(3) ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり

住民どうしがふれあい、いきいきと楽しく活動するボランティアの輪を広め、絆が実感できるまちづくりを推進しました。

① ボランティアセンター運営

ボランティアコーディネーターによるボランティアセンターの使命である住民の福祉力を高め、地域の生活課題の解決をすすめ、多様なボランティアや市民活動の振興に努めました。

○ ボランティア派遣依頼

地域サロン依頼	⋮	20件	団体依頼	⋮	61件	個人依頼	⋮	4件
---------	---	-----	------	---	-----	------	---	----

○ ボランティアの推移

年度	登録ボランティア グループ数	人数（人）	個人ボランティア 登録者数	社協登録 ボランティア人数
H20	94	1,740	90	1,830
H21	113	1,885	76	1,961
H22	133	2,295	95	2,390
H23	140	3,410	41	3,451
H24	159	3,512	11	3,523
H25	207	4,349	8	4,357

②ボランティア保険加入促進

ボランティア活動が安心しておこなえるよう「ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償する」ボランティア活動保険の加入の促進に努めました。

保 険 種 類		平成25年度
ボランティア活動保険	Aプラン	2, 222人
	Bプラン	715人
	天災A	16人
	天災B	32人
	連協加入	650人
ボランティア行事用保険		115件
送迎サービス保険		1件
福祉サービス総合補償		6件

③ふれあい基金活動助成

ボランティア活動の裾野拡大を目的に滋賀県社会福祉協議会より活動助成を受けました。

No.	グループ名	助成内容
1	ラブフレンドリー	ユニフォーム購入代
2	菜のはな	プロジェクター購入代
3	α工房「くさつ」	機器・機材・材料購入代
4	スターダスト	プリンター・キーボード台購入代

④収集ボランティア啓発

身近なボランティアを広げるために、使用済み切手・カード、書き損じはがき、プルトップ、ペットボトルキャップなどの収集啓発に努めました。

収 集 品	受入件数
使用済み切手	90件
使用済みカード	9件
書き損じはがき	4件
プルトップ	174件
ペットボトルキャップ【障害者施設へ届けた重量】 4月：19kg、5月：32.2kg、6月：18kg、7月：24.5kg、 8月：32kg、9月：21kg、10月：68.4kg、11月：47kg 12月：45kg、2月：70.6kg、3月：141kg 計518.7kg	388件





⑤ ボランティアグループリスト作成

ボランティアグループ間で情報を共有していただき、活動の活性化につなげることを目的に作成しました。

また、ボランティアグループと地域サロンを一緒に記載することで地域サロンにボランティアグループが参加する機会が増えました。

⑥ 福祉教育の推進・ボランティア体験教室

ボランティア活動や地域福祉活動の理解を広げるため、ボランティア体験教室を行い、学校等へ福祉教育を支援しました。

	点字体験	手話体験	盲導犬の理解	計
小学校	3回	3回	3回	9回
中学校	1回	1回		2回
計	4回	4回	3回	11回

⑦ 手話レベルアップ講座

聴覚障害者の日常生活上の初歩的なコミュニケーションの支援と交流活動を促進するため、手話奉仕員養成講座入門課程修了者が同講座基礎課程に入学できるように手話レベルアップ学習会を実施し、手話奉仕員の養成を図りました。

No.	開催日	会場	内容	参加者
1	平成25年 5月17日(金)	市役所8階 大会議室	開校式、自己紹介	21人
2	5月24日(金)	草津アミカホール 文化教室1	講演:「聴覚障害者の仕事と夢」 講師:西浦有紀さん	19人
3	5月31日(金)	草津アミカホール 文化教室1	前回の復習 友人との会話	16人
4	6月7日(金)	草津アミカホール 文化教室1	講演:「聴覚障害者の仕事の悩み」 講師:新井有美子さん	17人
5	6月14日(金)	草津アミカホール 文化教室1	前回の復習 医療現場にて	16人
6	6月21日(金)	草津アミカホール 文化教室1	講演:「聴覚障害者の活動や取り組み」 講師:安井悠子さん	16人
7	6月28日(金)	市役所8階 大会議室	前回の復習 仕事の悩み	17人
8	7月5日(金)	草津アミカホール 文化教室1	講演:「聴覚障害者の家庭生活」 講師:河野和代さん	17人
9	7月12日(金)	市役所8階 大会議室	第1講座～第8講座の まとめ	17人
10	7月19日(金)	市役所8階 大会議室	閉校式、交流会	20人

※受講修了証交付者 17人(受講者:24人)



⑧いきいき百歳体操サポーター養成講座

高齢者の介護予防のために考案された体操を地域に広めるサポーターを養成し、地域サロンなどに広めるために、講座を実施しました。

回	開催日	内容	参加者
1	10月 1日 10月 4日	・サポーターの心得 ・いきいき百歳体操の体力評価の方法、実技練習Ⅰ	24人
2	10月 8日 10月11日	・介護予防の必要性といきいき百歳体操の効果 ・いきいき百歳体操の実技練習Ⅱ	23人
3	10月15日 10月18日	・適度な休養の必要性 ・地域でのリスク管理の方法、実技練習Ⅲ	24人
4	10月22日 10月25日	・水分補給の必要性 ・いきいき百歳体操の指導練習Ⅰ	23人
5	10月29日 11月 1日	・おもりの増減の考え方 ・いきいき百歳体操の指導練習Ⅱ	24人
6	11月 5日 11月 8日	・サポーターの今後の活動について、指導練習Ⅲ ・ボランティアグループ「虹」の活動説明	23人

⑨傾聴講座の開催

ボランティア活動を始める際には、「傾聴」はコミュニケーションを図るための重要な手段のひとつです。聴く力を高め、人とのつながりをより豊かなものにします。

第1回の講座は、心配ごと相談所相談員や地域福祉権利擁護事業生活支援員、市民児協研修委員会の研修と位置付け、ボランティア活動に興味のある市民の皆さんの参加を得て開催しました。

また、受講者の中から電話訪問事業の傾聴ボランティアとして傾聴ボランティア育成講座を受講いただき、2人の方が登録していただきました。

○第1回傾聴講座「聴く姿勢とは～傾聴について考える」

開催日：平成25年10月15日（火）

講師：京都華頂大学准教授 武田 康晴さん

参加者：82人

○第2回傾聴講座「先輩ボランティアの活動紹介」「ボランティア活動について」

開催日：平成25年10月29日（火）

内容：1. 先輩ボランティアの活動紹介

発表者：「傾聴ボランティアひばり」森田恵美子さん、「送迎ボランティア」岡進一さん、手話サークルびわ湖 藤野茂子さん

2. ボランティア活動について

講師：市ボランティアセンター職員

参加者：32人

○傾聴ボランティア育成講座「電話訪問基礎講座ⅠⅡⅢ」

開催日：平成25年11月15日・22日、12月6日

講師：精神保健福祉士 久保憲二さん

⑩「よみ〜な」の発行

ボランティア活動の支援や情報提供の一環として3回発行しました。

配布先：市ボランティアセンター登録グループ、市内福祉施設、学区社協、学区民児協、人権センター、市民センター、シルバー人材センター、隣保館、コミュニティ事業団、図書館、アミカホール等

No.	発行号	内 容
1	平成25年5月号	ホームページで情報発信、ボランティア募集、県社協ふれあい基金助成、事業募集、ボランティアフェスティバル募集、ボランティアセンター登録
2	平成25年7月号	第2回ボランティアフェスティバルのご案内、参加申込書
3	平成26年2月号	平成26年度ボランティア活動保険案内、ボランティア募集

⑪移動ボランティアセンター

イベントや企業に出向き、ボランティア活動の理解と参加の促進を図りました。

開催日	事業名	内 容
5月10日(金)	オムロンデー	草津市ボランティアセンターの啓発、手話・点字の体験、盲導犬・介助犬の理解、AED体験、車イス体験、高齢者擬似体験、ぞうきん縫い
6月9日(日)	老上学区ボランティアまつり	地域サロン貸出備品の紹介・体験、折り紙コーナー、ボランティア相談・受付コーナー
11月16日(土)	福祉を考える市民のつどい	ガチャガチャ共同募金、ふくちゃん着ぐるみ啓発、ふくちゃんグッズ販売、ボランティア連協(防災クイズ)、民生委員児童委員パネル啓発、地域サロン備品紹介、市社協事業パネル啓発

⑫市ボランティア連絡協議会助成

ボランティアグループの横のつながりを強化し活動を広げるため、ボランティア連絡協議会活動を支援しました。

○加入グループ 56グループ、会員数1,045名

⑬ボランティア活動グループ助成

市ボランティアセンターに登録しているグループを対象にボランティア活動の推進を図ることを目的に助成しました。

○助成団体数：75グループ

⑭民間助成の支援（意見書作成）

高齢者・児童・障害児者福祉活動を資金面で応援するため、各種機関から助成制度があり、意見書を添付することで民間助成を支援しました。

- しがぎん福祉基金助成 5 団体申請
- 地域福祉活動振興基金（内藤基金） 助成 1 団体申請
- 大阪ガスグループ福祉財団「高齢者の福祉および健康づくりに関する調査・研究助成」 1 団体申請
- 大阪ガスグループ福祉財団「高齢者福祉助成」 1 団体申請
- 滋賀県社会福祉協議会 高齢者自主活動グループ新規立ち上げ支援事業助成 1 団体申請
- 滋賀県社会福祉協議会 子ども未来基金子育て支援活動助成 10 団体申請
- 滋賀県社会福祉協議会 ふれあい基金助成 5 団体申請

⑮滋賀県レイカディア大学「地域活動体験学習」活動支援

滋賀県レイカディア大学では、学生が地域の担い手として登場できるように支援することを設立の目的の一つとしています。その具体的なプログラムの一つとして、卒業後の地域活動をより確かなものにしていくため、地域との関わりやつながりを自らつくる体験を市ボランティアセンターが支援するため、ボランティア活動説明会ならびに既存のボランティアグループに繋げました。

○ボランティア活動説明会

開催日：平成25年11月19日（火）

場 所：草津市社会福祉協議会 大会議室

- 内 容：1)「ボランティア活動のてびき」に基づきボランティア活動をする上で注意しなければならないことを説明
- 2)「平成25年度ボランティアグループ地域サロン活動リスト」に掲載されているボランティアグループと調整

参加者：25人

⑯ボランティアフェスティバル

ボランティア活動に参加するきっかけづくりや活動者どうしのつながりをつくるきっかけづくりになることを目的に、楽しく交流・体験できるイベントとして、ジャンルや年齢を越えて人と地域とがつながる場づくりとして実施しました。

開催日：平成25年9月7日（土）

参加者：来場者300人、ボランティア86人

内 容

- ・映画上映「石巻市立湊小学校避難所」
- ・ボランティア音楽祭

出演者：玉川高校吹奏楽部、堀内圭三氏、佐々木春助氏
佐藤望氏、まこ兄、NSファミリー、YMBC

- ・モールアートワークショップ「モールでつくる簡単マスコット～まげてねじって巻きつけて～」
講 師：キタナカアツシさん
- ・市社協と若竹作業所のコラボ企画「葦ではがきをつくろう！」
- ・癒しの部屋：協力者：(株)ポーラフローレス店、ネイル井原真紀さん、ハンドケア古川三規子さん
- ・飲食・物販・啓発エリア

協力者：コスモス成年後見サポートセンター、セカンドライフサポート、ワークパートナーきらら、ゆかい家、若竹会若竹作業所、ワークステーション若竹、テックウィン草津、アイコラボレーション、こなんSSN、草津市コミュニティ事業団、宅配クック123、いちたろう、Reunion、ポーラ、ふれあいハウス絆、山田21ふるさと健幸推進委員会、鳩が森麵の会、草津市ボランティア連絡協議会



⑰災害ボランティアセンター

災害ボランティアセンター運営協議会の構成団体による運営訓練を実施しました。

○災害ボランティアセンター運営協議会議の開催

開催日：平成26年2月26日（水）

会場：草津市社会福祉協議会大会議室

内容：草津市災害ボランティアセンター運営協議会会長・副会長の選任について
高島市災害ボランティアセンターに参画して（報告）

災害ボランティアセンター運営訓練（案）について

参加者：草津市ボランティア連絡協議会 草津市老人クラブ連合会 草津市赤十字奉仕団
草津市エルダー婦人会 草津市更生保護女性会 草津市青年会議所 草津市災害ボラ
ンティアコーディネーター会 草津ワイズメンズクラブ 草津市コミュニティ事業団
草津市危機管理課 社会福祉課 滋賀県社会福祉協議会 草津市社会福祉協議会

○災害ボランティアセンター運営訓練

目的：災害発生時の草津市災害ボランティアセンターの運営を円滑かつ効果的に進めるととも
に、同センターの運営を担う運営協議会の構成団体間の連携を深める。

開催日：平成26年3月15日（土）

会場：草津市社会福祉協議会

対象：災害ボランティアセンター運営協議会構成団体

内容：災害ボランティアセンターの運営に係る活動業務の確認

参加者：54人



(4) 地域生活を支える事業の推進

①地域福祉権利擁護事業の充実

判断能力が充分でないため、毎日の暮らしのなかで福祉サービスの利用手続きや日常のお金の管理が不安な人が、地域で安心して生活を送れるように支援する地域福祉権利擁護事業の充実に努めました。自立生活支援専門員により相談、契約、支援計画を作成し、生活支援員と共に計画に基づく支援を行いました。

●自立生活支援専門員、生活支援員による生活支援

自立生活支援専門員による相談、契約、支援計画を作成し、生活支援員による計画に基づく支援を行いました。

【相談件数】

(単位：件)

	H25年度	H24年度	H23年度	H22年度	H21年度
高齢者	148 (99)	294	91	123	137
知的障害者	222 (44)	238	97	92	70
精神障害者	313 (150)	240	118	81	98
その他	3 (0)	85	24	6	6
計	686 (293)	857	330	302	311

※平成24年度からは、1日の相談回数、内容、項目ごとすべてをカウントしました。

※（ ）は生活保護受給者からの相談件数です。

【契約件数】

(単位：人)

契約内容 分類	H24年度 契約件数 (A)	H25年度 解約件数 (B)	H25年度 新規契約件数 (C)	最終契約件数 (内生活保護) (A) - (B) + (C)
高齢者	10	1	0	9 (5)
知的障害者	19	2	3	20 (3)
精神障害者	12	2	1	11 (5)
身体障害者	0	0	0	0 (0)
合計	41	5	4	40 (13)

【契約件数の推移】

(単位：件)

	H25年度	H24年度	H23年度	H22年度	H21年度
高齢者	9	10	16	25	25
知的障害者	20	19	21	12	10
精神障害者	11	12	10	6	6
その他	0	0	1	1	1
計	40	41	48	44	42

【支援回数】

(単位：回)

	H25年度	H24年度	H23年度	H22年度	H21年度
支援回数	690	736	721	559	463
内生活保護 受給者支援 回数	289	222	283	264	

○関係機関との連携

各利用者のケース会議やケアカンファレンスに随時参加

○行政会議への参画

高齢者虐待判定・対応方針会議（年／6回）、権利擁護事例検討会（年／6回）、地域包括支援センター・長寿福祉課からの相談件数14件

○支援専門員の体制

支援専門員の複数制を導入（現在3人）

●地域福祉権利擁護事業の啓発

地域福祉権利擁護事業の内容や仕組みを地域の人や専門職の集まりなどを通じて周知啓発に努めました。

また、「社協くさつ」での特集記事掲載をおこないました。



(社協くさつ3月15日号)

●生活支援員の研修会の開催

生活支援員のスキルアップのための研修会を開催しました。

○生活支援員の配置：20人（男性7人、女性13人）

○生活支援員の研修

	開催日	会場	内 容	参加者
1	6月24日（月） 7月 8日（月）	県社協	生活支援員/新任職員研修会 ・対人援助技術とコミュニケーション ・権利擁護とは ・地域福祉権利擁護事業について	3人
2	9月 7日（土）	市社協	平成25年度草津市社会福祉協議会講演会 ・地域福祉活動と社会福祉協議会の役割	5人
3	10月16日（水） 10月29日（火）	市社協	傾聴講座 ・聴く姿勢とは～傾聴について考える～ ・ボランティア活動について	9名
4	11月27日（水） 12月 3日（火） 12月 5日（木） 12月17日（火）	県社協	平成25年度地域福祉権利擁護事業生活支援員/新任職員研修会 ・認知症の人の理解と支援について ・精神障害者の理解と支援について ・知的障害者の理解と支援について ・成年後見制度について	延べ 12人

②心配ごと相談・貸付事業の充実

●心配ごと相談所開設

住民の皆さんの身近な暮らしの相談窓口としての「心配ごと相談所」を開設し、相談機能の充実に努めました。

○月曜日から金曜日、第2日曜日に開設しました。

○弁護士相談は、原則第1・第3水曜日に開設しました。

○「ゆかい家」にて毎週月曜日に出張心配ごと相談所を開設し、より多くの市民のみなさまに利用していただけるよう取り組みました。

○年4回発行の市社協広報紙「社協くさつ」に毎回掲載し、周知に努めました。

○相談件数：473件（うち ゆかい家 68件）

○平成25年度相談内容

内容	件 数		内容	件 数		内容	件 数	
	H25年度	H24年度		H25年度	H24年度		H25年度	H24年度
離婚	29	27	生計	282	361	精神保健	5	10
家族	22	49	財産	15	17	苦情	24	22
人権・法律	2	3	住宅	6	6	職業・生業	6	19
事故	6	3	消費者問題	3	5	医療	6	4
結婚	1	1	環境	2	2	高齢者福祉	6	5
年金	1	0	児童福祉	0	0	教育・青少年	0	3
心身障害児童福祉	3	3	母子父子福祉	0	0	その他	54	43
合計件数							473	583

○相談員連絡会の開催

相談員どうしの情報交換やスキルアップのための研修会を年6回開催しました。

○相談員研修会

開催日：平成25年5月21日（火）

場 所：まちづくりセンター

内 容：京町法律事務所 田口勝之弁護士より「相続・遺言の要点」についての講義

○桑名市社会福祉協議会より心配ごと相談員視察研修

開催日：平成25年11月19日（火）

場 所：草津市社会福祉協議会

内 容：桑名市より8人来所。情報交換や意見交換を行い、交流を深めました。

●高額介護サービス費貸付

介護保険利用者の自己負担額を超えた額を貸し付ける事業を受託しました。

貸付件数：0件

●生活つなぎ資金貸付

民生児童委員と連携し、一時的に生活困難に陥った世帯に生活のつなぎの資金として貸付けしました。

【貸付相談件数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
H25年度	6	9	5	7	5	7	5	7	6	8	8	5	78
H24年度	7	11	7	19	9	18	8	13	13	6	12	14	137
H23年度	1	6	7	10	9	8	8	5	13	7	9	8	91
H22年度	10	5	4	14	5	9	2	8	5	7	5	7	81
H21年度	8	7	10	9	13	8	18	6	6	8	8	13	114

【貸付状況】

	H25年度	H24年度	H23年度	H22年度	H21年度
貸付件数	56件	66件	49件	63件	88件
貸付額	2,510,000円	2,860,000円	1,921,500円	2,580,000円	3,891,000円

●生活福祉資金貸付

生活福祉資金相談員による生活福祉資金の貸付相談や貸付手続きをし、借受人の自立に向けて支援をしました。

【貸付相談件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H25年度	14	11	7	12	15	8	14	15	11	7	5	12	131
H24年度	14	14	5	12	17	14	12	16	6	13	21	20	164
H23年度	13	22	14	6	14	13	14	18	11	17	20	15	177
H22年度	11	17	6	12	13	12	8	17	15	20	17	22	170
H21年度	8	11	5	5	9	7	15	9	7	14	10	16	116

【貸付件数】

	総合支援資金	福祉資金		教育支援資金	不動産担保型生活資金	臨時特例つなぎ資金	生活復興支援資金	計
		緊急小口資金	福祉費					
H25年度	9	9	7	7	0	0	0	32
H24年度	17	12	3	14	2	0	0	48
H23年度	28	14	3	10	0	0	1	56
H22年度	31	13	8	6	0	3		61
H21年度	6	54	2	5	0	3		70

③小地域福祉活動における民生委員・児童委員との連携

●草津市民生委員児童委員協議会事務局

毎月23日を定例として総務会、必要に応じて総務委員会を開催し、単位民児協の活動を支援しました。総務会の開催に向けて役員会を行うことで総務委員どうしの連携強化を行うとともに、市民児協に組織されている部会（5部会2委員会1連絡会）が有効に機能するよう支援しました。

また、市社協職員の学区担当制による情報提供やアドバイスをを行い、個別援助活動が円滑に行われるよう民生委員児童委員活動に支援・協力しました。

●独居高齢者電話訪問

70歳以上の一人暮らし高齢者で話し相手を希望する方に、傾聴ボランティアによる電話訪問することで孤立や孤独に陥らないように民生委員・児童委員と連携し支援しました。傾聴ボランティアの情報交換やスキルアップの場として傾聴ボランティア連絡会を毎月第2金曜日に開催しました。

利用者：10人 傾聴ボランティア：8人

電話訪問回数：126回

【月別電話訪問回数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
回数	10回	9回	9回	9回	8回	9回	10回
月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
回数	13回	13回	12回	11回	13回	126回	

○傾聴ボランティア連絡会 12回開催

4月	電話訪問3・4月報告、平成24年度実績報告
5月・6月	電話訪問報告、意見交換
7月	電話訪問報告、暑中見舞状発送
8月・9月・10月・11月	精神保健福祉士 久保 憲二さん助言、電話訪問報告、意見交換
12月	精神保健福祉士 久保 憲二さん助言、電話訪問報告、意見交換、年賀状発送
平成26年 1月・2月・3月	精神保健福祉士 久保 憲二さん助言、電話訪問報告、意見交換

●歳末たすけあい配分

支援が必要な世帯への見舞金の配布、福祉施設、団体等への活動を支援し、一時的に支援が必要な世帯に、緊急に食糧を支給しました。

- 市内の準要保護世帯への見舞金（対象世帯：560世帯）
- 福祉施設、団体等への見舞金（29施設）
- 一時的に支援が必要な世帯に、緊急の食糧支援（45件）

④行政・専門機関、福祉専門職との連携強化

●社会福祉推進連絡会議の開催

市健康福祉部との連携を深めるために毎月10日前後に連絡会を開催しました。

（参加者）

市健康福祉部：副部長、社会福祉課長、地域福祉推進グループ長

市社協：事務局長、課長、グループ長、専門員

（協議内容）

市社協の事業計画、市社協の事業進捗状況、市社協の来年度に向けての職員体制、市補助事業の整理、予算執行状況、市の地域福祉活動の考え方、市の来年度事業、職員合同研修の持ち方、市社協の財源状況、重点事業の確認、来年度に向けての社会福祉推進連絡会の持ち方

●赤十字事業の推進（日本赤十字社滋賀県支部草津市地区事務局）

日本赤十字の社資（社費や寄付金）募集や赤十字活動の普及を図り、赤十字の活動を支えるボランティアである草津市赤十字奉仕団の活動を支援しました。5月の赤十字月間には、「日本赤十字社『世界赤十字デー周知キャンペーン全県統一行動』』として、JR各駅において啓発活動を行いました。



●社会福祉援助技術現場実習

人材育成の一環として社会福祉の専門家をめざす学生に実習の場を提供しました。

大学名	人数	実習期間
佛教大学	1名	8月20日～9月30日（28日間）
福岡県立大学	1名	9月4日～9日（5日間）



(5) 市社協の基盤づくり

① 役員と事務局体制の強化

● 第三者委員会の設置

苦情対応窓口を設置し、苦情解決の第三者委員を3人配置しています。

● 役員会の開催ならびに研修会の開催

理事会・評議員会・正副会長会を定期的を開催すると共に理事等の地域福祉研修会を実施し、役員体制の強化を図りました。

【正副会長会】

開催日		議案
第一回	5月17日（金）	（理事会・評議員会議案検討） ・平成25年度新理事・評議員の候補者について ・平成24年度草津市社協報告について ・平成24年度草津市社協収支予算について
第二回	平成26年 2月27日（木）	（理事会・評議員会議案検討） ・平成25年度草津市社会福祉協議会第2次補正について ・草津市社会福祉協議会経理規程改廃について ・平成26年度草津市社会福祉協議会事業計画・予算案について （報告事項） （仮称）滋賀の縁創造センターの動向について

【理事会・評議員会】

(理事会)

開催日		議案
第一回	4月 1日(月) (文書審議)	・草津市社会福祉協議会評議員の選任につき同意を求めることについて
第二回	5月24日(金)	・草津市社会福祉協議会評議員の選任につき同意を求めることについて ・平成24年度草津市社会福祉協議会事業報告について ・平成24年度草津市社会福祉協議会資金収支決算について
第三回	6月 1日(土)	・草津市社会福祉協議会会長および副会長の選任について
第四回	8月12日(月)	・草津市社会福祉協議会評議員の選任につき同意を求めることについて ・平成25年度草津市社会福祉協議会資金収支第1次補正予算について
第五回	10月21日(月) (文書審議)	・草津市社会福祉協議会評議員の選任につき同意を求めることについて
第六回	平成26年 1月 6日(月) (文書審議)	・草津市社会福祉協議会評議員の選任につき同意を求めることについて
第七回	平成26年 3月 7日(金)	・草津市社会福祉協議会評議員の選任につき同意を求めることについて ・平成25年度草津市社会福祉協議会資金収支第2次補正予算について ・草津市社会福祉協議会経理規程改廃について ・平成26年度草津市社会福祉協議会事業計画・予算案について 報告事項 ・(仮称)滋賀の縁創造センターの動向について

(評議員会)

開催日時		議案
第一回	4月 1日(月) (文書審議)	・草津市社会福祉協議会理事の選任につき同意を求めることについて
第二回	5月24日(金)	・草津市社会福祉協議会理事・監事の選任につき同意を求めることについて ・平成24年度草津市社会福祉協議会事業報告について ・平成24年度草津市社会福祉協議会資金収支決算について
第三回	6月 1日(土) (文書審議)	・草津市社会福祉協議会理事の選任につき同意を求めることについて
第四回	8月12日(月)	・平成25年度草津市社会福祉協議会資金収支第1次補正予算について
第五回	平成26年 3月20日(木)	・平成25年度草津市社会福祉協議会資金収支第2次補正予算について ・草津市社会福祉協議会経理規程改廃について ・平成26年度草津市社会福祉協議会事業計画・予算案について 報告事項 ・(仮称)滋賀の縁創造センターの動向について

【役員研修会】

「第1回地域福祉活動ステップアップ講座」として、役員改選年度ということもあり、理事・監事・評議員等に研修と市社協事業を実感していただけるように第2回ボランティアフェスティバル内で実施しました。

開催日：平成25年9月7日（土）

場 所：草津市社協2階研修室

内 容：「あらためてみつめよう！地域福祉活動と社会福祉協議会の役割」

講 師：京都ノートルダム女子大学准教授 酒井久美子さん

●職員研修、職員会議の開催

人権研修や地域福祉コーディネータースキルアップ研修を実施しました。

また、職員会議では、毎月の事業の進捗状況を確認しつつ、草津市の地域福祉活動の展開や社会福祉の動向等を意見交換する場をつくり職員同士の連携を図りました。

○職員会議：毎月職員会議を実施し、事業進捗状況の確認や事業内容の確認など意見交換を実施しました。

○職員プロジェクトと職員研修の実施：今年度第1回職員会議で協働のまちづくり・まちづくり協議会と社協の関係についてと会費のあり方について検討するよう指示があり、市社協職員がプロジェクトを編成し取り組むことになり、その取り組み報告と職員みんなで学習と検討をする機会として職員研修を実施しました。2回目からは、市社会福祉課、市コミュニティ事業団の職員の参加もあり、ともに学習する場になりました。

・第1回：平成25年10月10日（木）

テーマ：市社協プロジェクト「社協活動推進における学区社協支援、まちづくり協議会との適正な関係づくり」中間報告～協働のまちづくりとその背景を考える～

参加者：市社協職員

・第2回：平成25年12月5日（木）

テーマ：社協活動推進における学区社協支援、まちづくり協議会との適正な関係づくりについての学習と検討に関する中間の報告

地域福祉の推進、社協が捉える地域福祉…

市社協で検討したまち協と学区社協・市社協の関係

参加者：市社協職員、市社会福祉課職員、市コミュニティ事業団職員

・第3回：平成26年3月24日（月）

テーマ：市社協プロジェクト「社協活動推進における学区社協支援、まちづくり協議会との適正な関係づくり」報告

- ・社協のわかりやすいメッセージを作る。
- ・あらためて、「何で“まちづくり”なのか」
- ・確認すると「まちづくりは住民主体」「まち協は住民自治組織」
- ・問われる市民の成熟と組織化 求められる市社協の促進力

参加者：市社協職員、市社会福祉課職員、市コミュニティ事業団職員

●地球温暖化防止推進

「ゴーヤカーテン」を活用し、夏季のエアコン使用量の削減に努め、地球にやさしい取り組みを市民に伝え、待機時消費電力の削減に努めました。

ミスプリントの削減やペットボトルキャップ、プルトップ、書き損じ葉書や使用済み切手の回収に取り組み、エコ意識を高めました。

②会員制・会費制の維持発展をめざす取り組み

●「社協くさつ」等での情報公開

「社協くさつ」やホームページのみでなく、SNSの活用も含めて積極的に情報発信しました。

●市社協会費

【会員制度】

	H25 年度	H24 年度	H23 年度	H22 年度	H21 年度
一般会員	30,792 世帯	30,718 世帯	33,355 世帯	32,846 世帯	32,908 世帯
	4,618,800 円	4,607,700 円	5,003,250 円	4,926,900 円	4,936,200 円
賛助会員	705.2 口	721.8 口	770.8 口	756.6 口	761.8 口
	3,531,000 円	3,609,000 円	3,854,000 円	3,783,000 円	3,809,000 円
合計	8,149,800 円	8,216,700 円	8,857,250 円	8,709,900 円	8,745,200 円

③地域福祉活動推進に要する財源確保

●共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい）運動の推進

民間福祉事業の振興を図るために10月1日から12月31日まで、全国的に展開される「赤い羽根共同募金運動」を推進しました。

赤い羽根共同募金	11,360,650 円
歳末たすけあい募金	6,010,536 円
総額	17,371,186 円



●入れ歯リサイクル

入れ歯のリサイクルについて周知・啓発し、リサイクル箱を市民センターなどに設置し財源確保に努めました。

集まった重量	金額
167.9 g	11,488 円

●「社協くさつ」有料広告

市社協広報紙「社協くさつ」に有料広告を掲載し財源確保に努めました。

○広報啓発企業

- 6月15日号…木川営農組合、ASA草津、(株)クサネン、セカンドライフサポート、テックウィン草津
- 9月15日号…木川営農組合、ASA草津、マルキ印刷(株)、(株)ヒキタ事務機、いなだ社会福祉士事務所・稲田行政書士事務所
- 11月1日号…木川営農組合、ASA草津、マルキ印刷(株)、クサツエストピアホテル、いなだ社会福祉士事務所・稲田行政書士事務所
- 3月15日号…木川営農組合、ASA草津、マルキ印刷(株)、いなだ社会福祉士事務所・稲田行政書士事務所

●善意銀行・災害復興基金の活用と運用、寄附金の募集
ボランティア基金の活用と運用、寄附金の募集

【寄附金状況】

寄附名	H25年度		H24年度		H23年度		H22年度	
	件数	寄附金額	件数	寄附金額	件数	寄附金額	件数	寄附金額
社会福祉振興基金	15	363,002円	11	245,698円	26	696,912円	39	1,602,953円
ボランティア基金	12	365,626円	10	254,423円	6	43,453円	11	311,160円
善意銀行	17	544,714円	18	448,553円	11	433,000円	10	577,139円
災害復興資金	13	588,750円	13	657,300円	2	60,000円	3	2,038,000円
合計	57	1,862,092円	52	1,605,974円	45	1,233,365円	63	4,529,252円

* 寄附物品状況：子ども用車椅子2台（54,000円相当、63,000円相当）含む

④学区社協活動をはじめとした地域福祉活動支援

●学区社協会長会の実施

学区社協会長どうしの情報交換や福祉のまちづくりを推進する会議を実施しました。

【学区社協会長会】

日時	協議内容
4月22日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・市社協ならびに市健康福祉部の職員紹介 ・民生委員児童委員の一斉改選について ・学区社協会長会会長、副会長の選任について ・市社協理事、評議員の選任について ・学区社協の総会資料の提出について ・平成24年度補助金実績報告ならびに平成25年度補助金申請について ・平成25年度草津市同和教育推進委員の報告について ・平成25年度学区会長会年間計画について

5月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・市社協理事ならびに評議員の就任承諾書と履歴書の提出について ・平成25年度福祉活動推進員育成講座の開催について ・学区社協便覧の作成について ・草津市社会福祉施設整備審議委員会委員の推薦について
6月21日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度草津市社協会費について ・「第63回社会を明るくする運動」の街頭啓発の協力依頼について ・地域サロン補助金の交付について ・各委員会の委員の委嘱について ・第2回ボランティアフェスティバルについて
7月22日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度草津市社会福祉協議会会長表彰の候補者の推薦について ・平成25年度赤い羽根共同募金運動協力依頼について ・平成25年度敬老会日程確認と封筒作成について ・平成25年度草津市社協賛助会費募集の予定について ・平成25年度草津市社会福祉協議会役員研修について
8月20日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度草津市社協一般会費について ・平成25年度共同募金運動協力依頼説明会の日程について ・平成25年度共同募金街頭啓発について ・平成25年度学区社協便覧の確認について ・社協サロンのご案内について ・高齢者介護者リフレッシュ事業について
9月20日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・草津市社会福祉功労者等表彰式典の出席について ・敬老会対象者名簿の修正ならびに名簿の返却について ・2013地域福祉活動フォーラムinしがの案内について ・学区社協便覧の配布について
10月21日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度新規サロンの申請について ・2013地域福祉活動フォーラムinしがについて ・平成25年度社会福祉功労者等表彰者の確定について
12月10日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度地域福祉活動ステップアップ講座の開催について ・映画「遺体～明日への十日間～」の協力について ・各学区で取り組んでいることや困っていることについての意見交換
平成26年 1月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度福祉活動推進員育成講座修了者の報告について ・平成25年度賛助会費及び還付金の状況について ・地域サロン代表者への送付内容と今後の予定について
平成26年 2月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支え合い運送事業について ・市社協プロジェクト「社会福祉の分野から取り組むまちづくり」報告について ・平成26年度学区社協補助金予定額について ・平成25年度共同募金学区別納入状況について ・滋賀の縁創造実践センターについて

●学区社協活動共同募金助成支援

地域の支えあい活動を推進するための3本柱の活動「福祉の土壌づくり」「活動の担い手づくり」「個別援助活動」を支援しました。

●学区社協ボランティア活動助成支援

ボランティア活動を推進し地域での支えあい活動を支援するため、学区社協に対して活動助成を行いました。

●地域福祉コーディネーターによる学区社協活動支援

13学区すべてに地域福祉コーディネーターを設置し、1年間を通じて学区社協活動に参加協力支援してきました。

【学区社協支援活動状況（個別分）】

社協	回数
志津地区	7
志津南地区	17
草津学区	8
大路区	6
渋川学区	7
矢倉学区	5
老上学区	30
玉川学区	6
南笠東学区	11
山田学区	37
笠縫学区	16
笠縫東学区	3
常盤学区	2
合計	155

内容	回数
協力	17
参加	48
相談	64
支援	14
依頼	12
合計	155



(志津南学区)



●学区社協便覧作成

学区社協便覧は、各学区の特徴や学区社協の活動状況がわかるものとなっています。平成24年度につづき、平成25年度も各学区の住民福祉活動計画の進捗状況を掲載して、見直し・評価が必要な学区もある中、改めて計画について確認できるものとなりました。



●福祉委員設置促進

学区社協との協働により「福祉委員の手引き」をもとに学習会などを開催し、福祉委員活動がより効果的に行われるよう支援しました。

学区	開催日	講座（研修）名	依頼団体	参加人数
南笠東	6月12日	福祉委員研修	南笠東学区社会福祉協議会	25人
		福祉委員活動の大切なこと		
笠縫	6月22日	「笠縫地区福祉活動担い手づくり」懇談会	笠縫学区社会福祉協議会	30人
		福祉委員活動ってなあーに？		
老上	6月29日	福祉委員全体研修会	老上学区社会福祉協議会	45人
		福祉委員活動について		
玉川	7月17日	学区福祉委員研修会	玉川学区社会福祉協議会	50人
		顔がわかる それが大切 わがまちの福祉委員		
笠縫	7月26日	上笠地区福祉委員研修	笠縫学区社会福祉協議会	25人
		福祉委員活動について		
山田	11月12日	福祉委員研修	山田学区社会福祉協議会	40人

●サポートネットワーク

サポートネットワーク事業は、学区社協で実施されている地域福祉懇談会を継続して実施するものとし、懇談だけでなく学習会や見守り・支え合う支援活動についての話し合いをすすめ、学区・地区・区社会福祉協議会の関係者を中心に構成し、必要に応じて福祉や医療、保健の専門職の参加も考慮し実施しました。

学区社協	内 容
志 津	<p>開催日：平成26年2月22日（土）</p> <p>内 容：平成25年度福祉交流会 ～あなたが選んだ福祉推進委員の関わりと今後について～</p> <p>講 師：草津市社会福祉協議会 北村道和</p> <p>参加者：40人（町内会長、自治会長、地区社協理事、福祉推進部会員 等）</p>
志津南	<p>開催日：平成26年2月2日（日）</p> <p>内 容：志津南地区地域支えあい活動研修会</p> <p>○認知症地域見守り研修 講 師：長寿福祉課・松原地域包括センター</p> <p>○「志津南地区安心のバトン」導入研修 報告者：志津南地区社協会長</p> <p>参加者：60人（学区社協役員、民生委員児童委員、福祉委員 等）</p>

南笠東	<p>開催日：平成26年1月13日（月）</p> <p>内 容：南笠東学区ボランティア団体交流会 ～言葉ってあったかい。言葉って素敵だよ～</p> <p>講 師：詩人 里みちこさん （講演会の後、南笠東学区社協より第二次住民福祉活動計画について説明）</p> <p>参加者：48人（学区社協役員、民生委員児童委員 等）</p>
山 田	<p>開催日：平成26年2月10日（月）</p> <p>内 容：山田学区の医療福祉を考える会議 ～山田学区の高齢者の現状について～</p> <p>担 当：草津市地域包括支援センター</p> <p>参加者：32人（医師、ケアマネ、地域包括、福祉委員、民生委員児童委員等）</p>



(南笠東学区)



(山田学区)



社会福祉法人草津市社会福祉協議会

平成25年度 事業報告書